

# 用語解説

## ※① ユニバーサルデザイン

年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、はじめからできるだけ多くの人が利用可能なように、都市や生活環境をデザインすること。

一方、バリアフリーは、高齢者や障害者等が日常生活や社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念、その他一切の社会的障壁（バリア）の除去を行う取組。

## ※② 障害の社会モデル

障害者が日常生活又は社会生活において受ける制限は、身体障害、知的障害、発達障害を含む精神障害、難病その他心身の機能の障害のみに起因するものではなく、社会における様々な障壁と相対することによって生ずるものとする考え方。

例えば、足に障害のある人が建物を利用しづらい場合、足に障害があることのみが原因ではなく、段差がある、エレベーターがない、といった建物の状況にも原因があるという考え方。

## ※③ ダイバーシティ

「都民ファーストでつくる『新しい東京』～2020年に向けた実行プラン～」(平成28年12月東京都政策企画局)が目指す、3つのシティの一つで、誰もが希望や活力を持って存分に活躍できる都市に東京を進化させていくこと。

## ※④ 視覚障害者誘導用ブロック

視覚障害のある人を安全に誘導するために、足裏の触感覚で認識できるように地面や床面に敷設されている、突起を表面につけたブロック。

## ※⑤ 白杖

視覚障害のある人が安全に歩行するために用いる白い杖のことで、道路交通法に基づき道路を通行するときの携行が定められている。

## ※⑥ ユニバーサルデザイン 2020 行動計画

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、全国のユニバーサルデザインの取組を推進していくため、様々な障害者団体等の参画を得て、平成29年2月に閣議決定された計画。

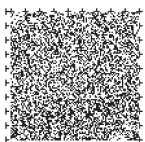
## ※⑦ 障害者権利条約

障害者の権利に関する条約。障害者の人権及び基本的自由の享有を確保し、障害者の固有の尊厳の尊重を促進することを目的として、障害者の権利の実現のための措置等について定めたもので、日本は平成26年に批准した。

条約締結の際の国内法整備の一環として「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)が平成25年に制定、平成28年に施行された。

## ※⑧ やさしい日本語

「簡単な表現を用いる」、「文の構造を簡単にする」、「ふりがなをふる」などの工夫をすることで、普通の日本語よりも簡単で外国人にもわかりやすくした表現方法。



## ※⑨ 身体障害者補助犬法

身体に障害のある人が身体障害者補助犬などを伴って社会で活動できるように支援することを目的として定められた法律。

## ※⑩ 要約筆記

聴覚障害のある人のために、その場で話されている内容を文字にして通訳する方法。

## ※⑪ LGBT

Lesbian (レズビアン:女性同性愛者)、Gay (ゲイ:男性同性愛者)、Bisexual (バイセクシュアル:両性愛者)、Transgender (トランスジェンダー:出生時に判定された性別と異なる性別で生きる人、あるいは生きたいと望む人)、の頭文字をとって作られた言葉で、性的マイノリティと呼ばれることもある。

## ※⑫ 内部障害

心臓機能、呼吸器機能、腎臓機能、膀胱・直腸機能、小腸機能、肝機能、H I Vによる免疫機能のいずれかの障害により日常生活に支障がある人。

## ※⑬ オストメイト

尿をためる膀胱や、便をためる直腸の病気による機能の低下又は喪失により、排泄物を体外に排泄するための人工肛門・人工膀胱を造設した人。

## 参考資料等

- ・「区市町村や事業者のための『心のバリアフリー』及び『情報バリアフリー』ガイドライン」(平成 28 年 3 月 東京都福祉保健局)
- ・「心のバリアフリー・情報バリアフリー研究シンポジウム～私たちの活動報告「ここから始めよう」～」(平成 28 年 11 月 19 日開催 東京都福祉保健局)
- ・「心のバリアフリーに関する事例収集及び意識調査」(平成 29 年 3 月 東京都福祉保健局)
- ・「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」(平成 28 年 2 月 東京都オリンピック・パラリンピック準備局、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会)
- ・東京都障害者差別解消法ハンドブック (平成 28 年 3 月 東京都福祉保健局)
- ・「障害者権利条約パンフレット」(平成 27 年 2 月 外務省)
- ・「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」(平成 29 年 2 月 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局)
- ・ユニバーサルデザインガイドブック「ユニバーサルデザインってなんだろう」(平成 27 年 11 月 新宿区都市計画部)
- ・ユニバーサルデザインガイドブック「心と心でコミュニケーション」(平成 28 年 3 月 新宿区都市計画部)
- ・「UD TRY!」(平成 29 年 3 月 江東区都市整備部)
- ・「小学生のためのユニバーサルデザイン体験教室ハンドブック part1」(平成 28 年 3 月 練馬区福祉部)

## 参考

### ●ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、又は妊娠初期の方など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成したマーク。



### ●ヘルプカード

障害のある方等が、災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に自己の障害への理解や支援を求めするためのカード。

